

地域課題について、宮崎の高校生が考える！ 教師国内研修の学びを活かし、実践授業を実施します。

来る2021年12月17日（金）、JICA 沖縄・九州が主催する「教師国内研修」に参加した延岡星雲高校の先生が、研修で作成したワークショップを授業で実践します。このワークショップは、研修で学んだ広島県安芸高田市の事例をヒントに、佐藤先生、濱口先生が作成されました。

「自己理解・他者理解を通して地域課題を考える」をテーマに、今の延岡の課題に対して高校生が「自分たちができること」をそれぞれのクラスで考えていきます。

JICA では開発教育支援事業のひとつとして「教師海外研修」を行っています。教員の方々を対象とし、研修を夏休み期間中に10日間程度、JICA 事業が行われている開発途上国で事業の視察などを行う研修となります。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため海外研修が実施できず、「教師国内研修」として講義、インタビュー、フィールドワーク、ワークショップ体験等をオンラインで実施し、その経験を国際理解教育・開発教育の実践に役立てていただくための研修をおこないました。

受講した先生方が作り上げたワークショップを実践しますので、ぜひ取材のご検討をお願いいたします。

■日時 : 2021年12月17日（金）

①11時30分～12時15分 ②13時15分～14時00分

■実践教員：①濱口 弥雲（はまぐち やくも）氏 ②佐藤 詩織（さとう しおり）氏

■場所 : 宮崎県立延岡星雲高校（宮崎県延岡市牧町4722番地）

お問い合わせは以下までお願い致します。

【本件に関する問い合わせ先】

特定非営利活動法人 九州海外協力協会（本事業業務委託）

担当：河野（カワノ）

TEL:092-710-5310

E-mail:ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp